

# 大串ひろやす通信

発行者 千代田区議会議員 大串博康

〒102-0083 麹町2-14-305 Tel/Fax:03-3221-1554

## この通信では

以下の3点について紹介させていただきました。

	コーナー	内容
1	第3回区議会定例会 一般質問	財政白書と予算編成方針について質問しました。
2	ちょっと教えて	千代田市を目指す基本構想が可決されました！
3	お知らせ	孀恋郷土資料館が面白い。

## 平和への対話

= 非暴力でどう戦うか =



今回、アメリカで起こった同時多発テロの犠牲になった全ての方々に深く哀悼の意を表します。

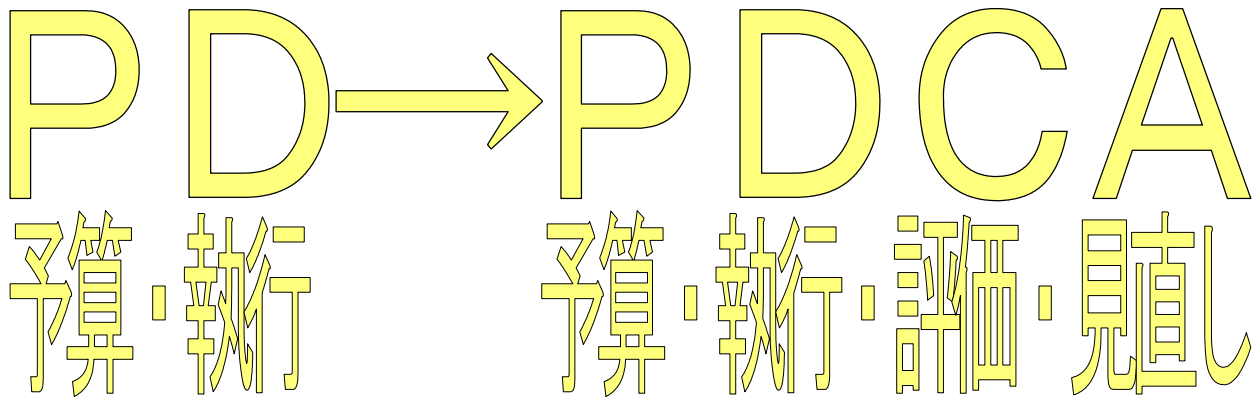
アフガニスタンについては60年代から70年代に平和だったその様子を井上靖氏は「シルクロード紀行」の中でこう述べています。

「この灰色の町（カブール）は、絨毯屋の多い繁華な町中に立つと、こんどはシルクロードの町に替る。町には近代的なビルが並んでいるが、その中を全身がすっぽりと袋のようなチャドリに収めた女も歩いているし、スカーフ様に顔だけを包んだチャデルの女も歩いている。種族によってはそれぞれ異なったターバンで頭を包んでいる男たち。果物をのせた大きな籠を頭にのせている老人も居れば、驢馬を連れた

少年たちも町を横切って行く。町は平和そのもので、町の人たちの表情はおだやかである。しかし、アム・ダリヤの向こうの西トルキスタンのどの町々より生き生きしたものを感じるのは、かつてのシルクロード時代の町の表情が、さして変わることなく、今に受け継がれているからであろう。

この町の夜は美しい。星も美しいし、燈火も美しい。空気が澄んでいるからであろう。そして何よりも羨ましいことは都会の騒音がないことである。」（井上靖「古い隊商路（1971）」より）  
東西文明の交わるこの地はつい最近までシルクロードの平和な表情を残していたと紹介されています。このすばらしい文化も何の罪もない子供たちもテロの犠牲になっているといえます。私たちは絶対に今回のテロリストたちを許せません。テロ根絶のために何ができるのか。ニュースでは連日アフガニスタンの空爆を伝えています。平和のための対話が今こそ必要ではないでしょうか。写真はある高校の「非暴力でどう戦うか」というシンポジウムのため作られた小冊子の表紙にあったタジキスタン帰還民の少女です。

# 何のための行政経営か



## 一般質問

今回は8月に発表されました財政白書と予算編成方針について質問3点、提案3点行いました。



### [ 1 ] 財政白書について

( 1 ) 何のための行政経営か。区長の決意も含めて問う。

- 以下質問抜粋 -

白書の冒頭でも「千代田区を一つの経営体、政策主体とし、この自治体運営にあたってはマネジメント、いわば経営の視点を忘れてはいけない。」と述べています。 - 中略 - この白書の最大の特徴は、単なる財務諸表の公開にとどまらずPDCAサイクルの仕組み作りまで及んでいることです。白書にはこう書かれています。「予算消化」の言葉に象徴される予算は使いきるのが良いという悪しき習慣から脱し、最小の経費で最大の効果をあげるよう施策全般にわたって、計画立案

( Plan )、事業執行 ( Do )、検証・評価 ( Check )、見なおし ( Action ) を行うPDCAサイクルを構築します。このPDCAサイクルの構築こそ経営のマネジメントの構築であります。そこで改めて区長に何のための「行政経営」か。決意も含めてお願いします。

### 【区長答弁】 - 抜粋 -

区民の目線でということを申し上げました私は。民間は顧客本位ということだろうと思います。お客様が離ればその組織体はつぶれます。区政も全くそうだろうと。 - 中略 - 今時代は同じやり方でいいという時代ではない。常に自分たちの行き、あるいはやってきた仕事をもう一遍振り返って考え、そして変えていくと。このことを行わないと、私は組織は滅亡すると思います。これは民間の企業も全く同じ視点で行っているのではないだろうかと思います。これからもご質問の主旨に対して、一つひとつの仕事についてやはり実際の成果と評価、それをきちっと行っていくという、いわゆるPDCAシステムというのをきちっと導入すべく準備をしているところでございます。

( 千代田区財政白書は <http://www.city.chiyoda.tokyo.jp/tokusyuzaisei/index.htm> )

# 予算は使い切るもの これはもう古い！

## [ 2 ] 予算編成方針について

### ( 1 ) 今回示された予算編成方針の特徴は何か。

今まで多くの自治体では先のP D C Aサイクルでいうところの( P l a n ) 予算、と( D o ) 施行し  
がなく単年度で使いきることが良とされてきたといえます。PとDしかなかった「悪しき慣習から脱  
し」サイクルの後半( C e c k ) 検証・評価と( A c t i o n ) 見なおしを行い( P l a n ) 予算へ  
とフィードバックできることが白書で訴えていたごとく重要なのであります。ちなみにアメリカ連邦  
政府では93年にG P R A法(政府業績成果法)という法律が出来ましたがこれは成果目標と実績こ  
れのギャップを説明してから来年度の予算・計画を作るというものです。今回の予算編成方針の特徴  
に「予算編成方針(インセンティブ)」とあります。また冒頭述べましたが白書には「『予算消化』の  
言葉に象徴される予算は使いきるのが良いという悪しき慣習から脱しP D C Aサイクルを構築します。」  
とあります。もう一つ予算編成について大事なことは政策目標、課題ごとの予算編成ではないかと思  
います。それは、現在では施策が複数部にまたがることは珍しくありません。各部を横断する施策に  
ついては関連部の連携により予算要求を行うことは重要となってきます。各部の取り組みや職員の仕  
事に対する考え方も政策目標、課題指向へと変え予算編成もそうあるべきだと思います。そこで改め  
て区長に今回の予算編成方針の特徴とは何か。お伺いします。

### 【企画部長答弁】

今回の予算編成方針の特徴でございますが、始めて予算編成前に7項目にわたる予算編成の基本的  
な考え方並びに方向性を明らかにしました。従来の予算編成方針は、予算発表時にその当初予算の施  
設面及び財政面からの基本的考え方を示すものとして公表していたものですが、今回は方針の公表の  
時期並びに内容の点で大きく異なっているものと考えております。この方針に基づきまして今後予算  
編成作業を行い、区民福祉を向上する予算としてまいりたいと考えております。

( 予算編成方針は [http://www.city.chiyoda.tokyo.jp/kuchou/13\\_02/shiryuu04\\_2.pdf](http://www.city.chiyoda.tokyo.jp/kuchou/13_02/shiryuu04_2.pdf) )

### その他の質問

「行政経営」を行うためには何が必要か。それらの導入・策定のスケジュールを区民に示すべき。

### 提案として

会計手法を活用した積極的な説明責任の遂行手段としてアニュアルレポート(年次報告書)を作成  
してはどうか。

各財務諸表作成に当たっては東京都方式を採用すべきと思うが。

( 東京都の「機能するバランスシート」は

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/KEIKAKU/SHOUSAI/70B4A100.HTM> )

区民にわかりやすい予算説明書を作成してみてもどうか。

( 北海道ニセコ町の予算説明書「もっと知りたい今年の仕事」を例にさせて頂きました。

<http://www.town.niseko.hokkaido.jp/> )

# ちょっと教えて 千代田市を目指します

千代田区のおよそ20年後の将来像を目指す基本構想について

千代田区は何を目指して行政を行っていくのか。区民に明確な将来のヴィジョンを示す必要があります。国及び都が何かしてくれるのを待つというような姿勢では真の住民のための自治はできないのではないのでしょうか。自分たちのことは自分たちで行うことまたできるようにすること。100年に一回あるかないかという変革のとき住民に一番身近な自治体から改革の手を上げていく。その意味で「市」を目指すことは至極当然のことであり私はこの基本構想に賛成いたしました。（賛成17、反対5、退出1の賛成多数で可決）勿論、これからが大事であります。具体的にどう目指していくのか。何ができていて何がこれから必要なのか。そのための基本計画及び推進プログラムはこれからです。区民の皆様方と充分協議し決めていかななくてはなりません。私たち自らが参加し作っていきこうという姿勢そのものが、もう「市」を目指す第一歩を踏み出していることだと思います。

「市」を目指すことについては行政側から提案があったことをただ賛成したということだけでなく議会としても主体的に「市」を目指すものです。議会最終日に議員提出議案として「『千代田市』を目指す決議」を賛成多数で可決しました。（反対5）

「『千代田市』を目指す決議」全文は<http://www2.ocn.ne.jp/%7Eckugikai/ikensho/chiyodasi.PDF>

# お知らせ 孺恋郷土資料館が面白い



孺恋郷土資料館

群馬県吾妻郡孺恋村大字鎌原494

Tel 0279 - 97 - 3405



10月18日、19日と孺恋村との議員同志の交流が行われました。19日に行きました郷土資料館は予想をはるかに越える内容で正直びっくりしました。姉妹提携していることもあり千代田区内の各小学生も体験学習の一貫としておとずれているようです。資料館

で説明される人が自ら採掘した体験を話し、「歴史は直接見てそこから自ら考える事が大事だ。」とお話しされていたのが印象に残りました。上の写真は特別展示室にあります今から3500年前の黒色磨研の注口土器で縄文式時代のものです。小さい物と大きい物の比が不思議にも1:1.41になっているそうです。この孺恋の地に3500年も昔高い文化を持った人たちがいたことは事実のようです。興味はつきません。

## 編集後記

紙面の都合で限られた情報になってしまいました。「一般質問」、「ちょっと教えて」そして「お知らせ」と各コーナーとももっと書きたいことがありましたが許してください。今定例会では他に「子ども園」のことも多く議論されました。また、皆様との意見交換も行っていきたいと思います。この通信を読まれたの感想、ご意見そしてアドバイスお待ちしております。また地域のこと、日頃の身近な相談等何でも結構ですのでお気軽にご連絡下さい。Tel/Fax: 3221-1554. e-mail:ogushi@mvb.biglobe.ne.jp

区議会議員 大串博康